

九州運輸局メールマガジン

平成 21 年 12 月 18 日 第 62 号（発行日：毎週金曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

今週も九州運輸局メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。

目次

- 1．九州運輸局ホームページアップ情報（12月11日～12月17日掲載分）
 - トピックス
 - プレス発表
 - 入札・契約情報
 - バス・タクシー・トラック
- 2．お知らせ
 - 九州運輸局十大ニュースを決定
 - 広報誌「国土交通」がリニューアル発刊されました
- 3．現場レポート
 - バンコクにおける九州観光説明会・商談会
 - 第33回九州運輸コロキアムを開催！
- 4．九州運輸局セミナー
 - 列車の運転免許
 - 信頼は安全・安心のもとに
- 5．リレーコラム
- 6．編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】（12月11日～12月17日掲載分）

トピックス

プレス発表

《観光》

- ・中国において「九州観光説明会・商談会」を開催します！（12月11日発表）
http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091211_2.pdf
- ・中国において『九州の夢の旅』新ツアー発表会」を開催します！（12月11日発表）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091211.pdf>
- ・中国から見た『九州の夢の旅』コースが決定しました！（12月15日発表）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091215.pdf>
- ・インセンティブツアー誘致のための中国の旅行会社招請を実施します！（12月17日発表）
<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press091217.pdf>

入札・契約情報

- ・企画競争実施公示

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・企画競争結果の公表

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/091214.pdf

バス・タクシー・トラック

- ・申請公示、申請・処分状況（バス・タクシー・トラック・倉庫：12月11日更新分）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/list.html#b_kouji

- ・タクシー特定地域協議会（支局別特定地域協議会）

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file18.html

【お知らせ】

「九州運輸局十大ニュース」を決定

九州運輸局では今年一年の締めくくりとして全職員にアンケートを実施し、「九州運輸局十大ニュース」を次のとおり決定しました。

第1位：半世紀ぶりの皆既日食 トカラ列島海域に観測者殺到！～海上航路開設相次ぐ～（7月）

第2位：関門海峡で護衛艦「くらま」と韓国籍のコンテナ船「カリナスター」の衝突による海難 PSC を実施（10月）

第3位：環境性能に優れた自動車に対する自動車重量税及び自動車取得税の時限的減免措置の開始（4月）

第4位：大分ホーバークラフトが、一般旅客定期航路（大分～大分空港航路）のホーバークラフト運航を休止（10月）

第5位：まき網漁船「第11大栄丸」転覆沈没（4月）

第6位：マルエーフェリー(株)「フェリー座礁横転事故」に対し特別監査（立入検査）を実施（11月）

第7位：「新型インフルエンザ対策本部」を設置（6月）

第8位：門司港レトロ観光線開業式（4月）

第9位：タクシー特別措置法施行及び特定地域21地域を指定。福岡県内の5タクシー特定地域協議会を合同開催（11月）

第10位：長崎電気軌道上限運賃変更認可（8月）

次点：S L人吉号出発式（4月）

広報誌「国土交通」がリニューアル発刊されました

国土交通省では、いままでの広報誌の編集発行体制を見直し、12月から「国土交通」を隔月刊でリニューアル発行しました。

新しい広報誌では国土交通省と国民生活とのかかわりをよりわかりやすく紹介し、身近で親しみやすい内容の充実に努めました。

広報誌「国土交通」は、国土交通省ホームページにも掲載しております。

次のURLからご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_000684.html

九州運輸局・運輸支局・自動車検査登録事務所・海事事務所にパンフレットスタンド等に設置していますが、部数に限りがありますので、何卒ご了承ください。

【現場レポート】

バンコクにおける九州観光説明会・商談会

九州運輸局は九州観光推進機構と連携し、在タイ日本国大使館、日本政府観光局（JNTO）バンコク事務所、タイ国政府観光庁福岡事務所の協力を得て、ビジット・ジャパン・キャンペーン地方連携事業の一環として、12月4日にタイ王国バンコクにおいて、現地旅行会社等を招いて「九州観光説明会・商談会」を開催しました。

2008年のタイ王国から九州への観光客数は約1万3千人で、「重点市場」として今後も増加が見込まれる地域であり、九州運輸局では、平成19年の「日タイ修好120周年」及び「日タイ観光交流年」を機に、タイ国政府観光庁福岡事務所と協力しながら、双方向の来訪促進、交流拡大等を目的とした様

々な事業を実施しているところです。

今回の「九州観光説明会・商談会」には、九州からは各県、観光施設等の関係者4者が、また、タイ王国からはT T A A（タイ旅行業協会）傘下の旅行会社等130名が参加されました。

日本側関係者は、他国での同様の説明会などと時期が近かったことなどから参加が少数でしたが、タイ王国側関係者は予想を超えた参加者数で、説明の最中も熱心にメモを取るなど、非常に活気あふれる説明会になり、九州観光への関心の高さを感じました。

また、休憩時間中に八女茶と福岡の柿を提供しましたが、非常に好評で、説明会の最後には九州のお土産などが当たるラッキードロー抽選会を行い、盛会のうちに終了しました。

来年1月には、特に九州への旅行商品造成に意欲的なタイ王国の旅行会社やマスコミ関係者を九州へ招請し、九州の観光スポット・観光施設などを実際に体験してもらうことにより、質の高い九州向けツアーの造成を働きかける予定です。

今後とも、関係機関と協力し、積極的に九州の魅力をPRすることで、認知度向上及び観光客誘致に積極的に取り組んで参ります。

当日の様子の写真は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_62.pdf

（企画観光部国際観光課）

「第33回九州運輸コロキアム」を開催！

（財）九州運輸振興センターは、12月16日（水）に福岡市のホテルセントラザ博多において「第33回九州運輸コロキアム（後援：九州運輸局）」を開催しました。

今回は、立命館アジア太平洋大学 塚田教授をお迎えし、「交通運輸事業とカーボンクレジット 低炭素社会の実現に向けて」と題し、講演を頂きました。塚田教授は、九州運輸局において運航部長及び自動車部長を歴任されたこともあり、その後、世界銀行、アジア開発銀行にてご活躍され、現在、アジア太平洋学部副学部長の職に就かれています。

現在、塚田教授は、地方自治体などと連携し、個人や家庭レベルでのCO2を削減し、また、その削減量を数値化し、これをカーボン市場で売買する「二酸化炭素削減のための産官学パイロットプロジェクト」に、中心的な立場で取り組まれています。折しも、コペンハーゲンにて開催のCOP15にて地球温暖化問題が議論されており、まさにタイムリーな講演内容となり、交通運輸業関係者、行政関係者等、72名が耳を傾けていました。

また、コロキアム終了後は、場所を九州運輸局会議室に替え、塚田教授と「交通運輸業とカーボンクレジット」について、九州運輸局職員との意見交換が行われました。意見交換では、「カーボンクレジットの必要性や運輸業との関係を詳しく説明され大変参考になった。」と、今後、業務を進めていく上で、大変貴重なお話を頂いたコロキアムとなりました。

【九州運輸局セミナー】

列車の運転免許

九州運輸局鉄道部安全指導課では、鉄道営業法に基づき列車（車両）の運転免

許試験（動力車操縦者運転免許試験）を年2回実施しています。

最近は、第三セクターの各鉄道事業者でも団塊の世代の大量退職により、運転士の補充の関係で受験者が増加傾向にあります。これは運転士養成所でも同じ傾向で、JR九州においては平成23年春の九州新幹線全線開業に向けて新幹線の運転士の育成もあり増加しています。

なお、新聞にも掲載されましたが、福岡市営地下鉄では、現在、新人運転士の養成期間中であり指導員付きでの見習い運転を行っていますので、たまに、停止位置不良でバックしていると思いますが、安全には特に問題ありませんので安心して乗車してください。

・「動力車操縦者運転免許に関する省令」においては、
鉄道会社等の係員等は、地方運輸局長から運転免許を受けた後でなければ、動力車（列車等）を操縦してはならない。（ただし、運転見習中の係員が、指導運転士と同乗して訓練する場合等を除く）

運転免許の種類は、新幹線電気車（新幹線）、電気車（電車）、内燃車（ディーゼル車）等がある。

JR九州、西鉄、福岡市交通局においては、国土交通大臣の指定を受けた自社内の運転士養成所により独自に運転士を養成し、資格を得ることができる。などとなっています。

～運転免許資格取得試験の流れ～

第一段階『身体検査』

・視機能（例：各眼の視力が裸眼で1.0以上など）聴力、疾病、身体機能等について診断書により確認します。

第二段階『学科試験』

・国土交通省で作成した試験問題を使って、安全に関する基本事項、車両の構造及び運転理論等の知識について、学科試験を行います。（年2回）

第三段階『適性検査』

クレペリン検査

ランダムに数字が羅列している数表を使って、隣り合わせる数字の足し算を所定の時間内に行うことにより適性を診断します。

反応速度検査

ランダムに光る3色の光に対応したキーを押して、正答数、誤答数により適性を診断します。

以上（身体検査、学科試験、適性検査）を合格した者に対して、『技能試験』を行います。

第四段階『技能試験』

速度観測・・・運転中、速度計を隠した状態で列車速度を回答してもらいます。

距離目測・・・列車運転中に目標物までの距離を回答してもらいます。

制動機の操作・・・ホーム上で停止位置との誤差を測定、停止時の揺れを測定します

定時運転・・・ダイヤどおりの運転かどうか、運行時分を測定します。

非常の場合の措置・・・事故発生時の処理方法が適切かどうか審査します。

制動機以外の機器の取扱・・・出庫時の車両点検方法の審査等します。

なお、この『技能試験』は鉄道会社の施設・車両を使って実施します。

平成21年度の第1回の学科・技能試験実施状況と結果は次のとおりです

・学科試験日：9月10日

受験鉄道等事業者名：長崎電気軌道(株)

・受験者数：5名 ・学科合格者数：5名

・技能試験日：11月5日、6日 ・技能受験者数：5名

受験鉄道等事業者名：熊本市交通局

・受験者数：12名 ・学科合格者数：12名

- ・技能試験日：11月11日～13日 ・技能受験者数：12名
受験鉄道等事業者名：島原鉄道(株)
- ・受験者数：2名 ・学科合格者数：2名
- ・技能試験日：11月17日、18日 ・技能受験者数：2名
受験鉄道等事業者名：くま川鉄道(株)
- ・受験者数：4名 ・学科合格者数：3名
- ・技能試験日：12月10日、11日 ・技能受験者数：3名
(鉄道部安全指導課)

信頼は安全・安心のもとに

平成17年4月25日、近畿運輸局管内のJR福知山線尼崎駅付近において、近代鉄道史上未曾有の列車脱線事故が発生しました。国土交通省としては、鉄道事業における輸送の安全を確保するための取組みを強化するために、「運輸の安全性の向上のための鉄道事業法等の一部を改正する法律」いわゆる「運輸安全一括法」を国会に提出し平成18年3月31日に公布されました。

この改正では、
鉄道事業社内の安全監理体制の確立
利用者による監視の強化
国による指導監督体制の強化
以上が大きな柱となっています。

この柱の中から「国による指導監督体制の強化」について、鉄道輸送等の安全確保に向けた取組みの一部を紹介します。

現在、九州運輸局管内では、鉄道事業者17社(貨物鉄道1社、鋼索鉄道2社、三種事業者1社を含む)、軌道経営者4社、索道事業者19社が運行しています。今までも、管内事業者に対し保安監査等を通じて、鉄道事業者等の規定類や安全監理体制の適切性について必要な指導監督を行ってきましたが、前記の法改正によりこれらを一層強化し、安全管理規程の制定・届出、安全統括管理者及び運転管理者の選任・届出等を義務化して、これらの規定類に基づき「運輸安全マネジメント評価」を実施しています。

この「運輸安全マネジメント評価」は、運輸局職員等が事業者の経営トップ(社長)をはじめ安全統括管理者や経営管理部門の方々に、安全に関する取組みを直接お尋ねするインタビュー形式により実施し、必要に応じて助言等を行い(強制力はありませんが)、事業者の取組みがスパイラルアップ(向上)できるように事業者と国とが一緒に考え知恵を出し合って、より安全・安心な鉄道等とする取組みです。

また、鉄道事業等において、輸送の安全の確保等の責任は一元的に事業者にあるという考えのもと、保安監査等を行ってきましたが、人口減少や少子高齢化を背景とした鉄道収入が伸び悩む中、合理化のため鉄道施設等の保守等を外部委託する例が増加しています。このような状況に適応し必要な指導監督をするため、保守等の委託を受けた者にも報告徴収や立入検査を可能とする改正も盛り込まれ、運用をしているところです。

これらの新たな取組みに対応するべく、運輸局では鉄道安全監査官を配置し、鉄道等の安全・安心を揺るぎないものとするため精力的に活動を進めておりますが、確固たる信頼を得るためには、事業者の経営トップから現場の係員までが同じ方向を向く事が不可欠です。国と事業者、さらには利用者が一体となって取組んでいける(鉄)路作りを目標に今後も取組んで参ります。
(鉄道部鉄道安全監査官)

【リレーコラム】

企画観光部が担当している「地方の元気再生事業」の一つに、砂むし温泉で知られる指宿温泉のホテル・旅館が、温泉保養・滞在のリラックス度を測定する「平成版IT湯治」があります。

「平成版IT湯治」は、ホテル・旅館に用意されたベルト型の計測器（小型心電モニター）を胸につけ、朝から夜まで約12時間の行動を30分間隔で記録してリラックス度（ストレスの変化）を測り、ホテル旅館に設置のパソコンで、その記録をチェックして、結果をプリントアウトして持ち帰り、日常のストレスと健康のコントロールに役立ててもらおうというものです。

健康保養滞在型の観光地づくりを進める同温泉が、地元食材を生かした低カロリー食の開発とウォーキング、砂むし入浴など組み合わせた滞在型プログラムに、IT技術を活用した滞在者の健康チェックを組み込み、旅行商品化の実現を目指しています。

ストレス変化は交感神経と副交感神経の微弱電波をキャッチし、変化を解析することで、ストレス度が測定できるものです。小型計測器にはSDカードが挿入され、時間ごとの変化をデータとして記録、パソコンでSDカードからデータを読み込み、ストレス度測定器としてわかりやすく表示するものです。

一緒に滞在した家族で、食事、温泉、ショッピングなど同じ行動をしても、ストレス変化は、違った計測結果となっています。しかし、指宿市街から南西へ4キロほどの山中にある「うなぎ池」で計測すると、ほとんどの人のストレス度が低くなっています。

この「うなぎ池」は、九州最大のカルデラ湖、池田湖の東に位置する、神秘的な雰囲気漂う湖で、火口湖は、木々が生い茂る急な崖に四方を囲まれており、ここが、かつて噴火口の跡であったことを偲ばせています。そして訪れるたびに、大昔にタイムスリップしたような錯覚に襲われます。

皆様、指宿温泉で温泉に入り、のんびりとした時間を過ごし、自分の健康へのヒントを見つける「平成版IT湯治」を体験して、そして、「うなぎ池」へ行きませんか・・・
（企画観光部次長 牛嶋 賢一）

【編集長だより】

今朝起きてふと外を見ると粉雪が舞っていました。本格的な冬の到来です。暦をみれば今年も残り二週間ほどになってしまいました。正月もすぐそこまで近づいています。

正月といえば元旦の朝から食べるお雑煮ですが、普段の食卓から匂を味わうことやさまざまな行事食が消えつつある昨今、日本中の家庭でそれぞれの伝統や風土性が残っているのは、このお雑煮やおせち料理だけかもしれません。

一つの県だけでも地方によって材料や味付けが全く違っています。

あえて九州七県それぞれの特徴のある代表的なお雑煮をあげてみますと、商売繁盛を願った縁起物の具が多い「博多雑煮」、鍋島藩の質実剛健の精神が込められた「葉隠れ雑煮」、天草の乱に起源を發する「島原具雑煮」、椎茸のだしに昆布が加わる熊本の「山あいの雑煮」、九州では珍しいみそ仕立ての「宇佐・竹田の味噌雑煮」、宮崎のなば（椎茸）・里芋・油揚げが入った「なば入り雑煮」、豪勢な焼きエビが丸ごとのった鹿児島島の「焼きエビ雑煮」など々各県にあるお雑煮のほんの一例です。さて、皆様の家庭で作るお雑煮にはどんな具材が入るのでしょうか。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。

編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次の URL に掲載しています。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

九州運輸局メールマガジン フォトライブラリー

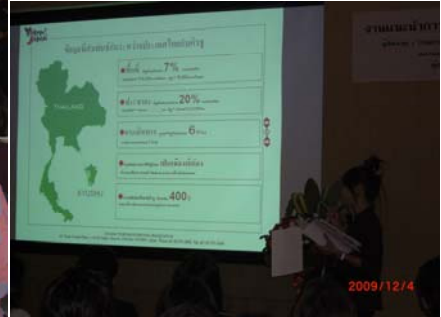
第62号 平成21年12月18日(金)

現場レポート

○バンコクにおける九州観光説明会・商談会



九州観光説明会の模様



説明に熱心に聞き入る参加者



八女茶と柿の提供



ラッキードロー抽選会



主催者挨拶(九州運輸局 織田 計画調整官)